

第 17 回日韓大学生国際交流セミナー概要

～複言語・複文化教育と東アジア共生の可能性～

森山新・清水郷美（お茶の水女子大学）

1. 概要

日時 2023 年 8 月 7 日（月）～9 月 16 日（土）

場所 釜山外国語大学校（大韓民国釜山広域市）

主催 お茶の水女子大学国際教育センター・グローバル文化学環・日本語教育コース

協力 釜山外国語大学校

2004 年に第 1 回が行われ、今回が第 17 回となる日韓大学生国際交流セミナーは、本学から 5 名の学生が参加し、韓国の協定校である釜山外国語大学校で実施された。第 11 回までは同じく協定校である同徳女子大学校との間で、日韓両国間にまたがる諸問題を取り上げ、両国の学生が話し合いを通じ解決をみぞすという形で実施されて来た。そして戦後 70 年、日韓国交回復 50 周年を迎えた 2015 年度の第 10 回セミナーにおいて、両国の学生が戦後 70 年日韓学生共同宣言を発表、両国が過去を直視し、互いが納得のいく議論の下、真の未来志向の関係を構築するまでに至った。また 12 月には日韓文化交流基金の助成のもと、35 名の学生を連れて韓国の同徳女子大学校、啓明大学校、釜山外国語大学校を訪れ、戦後 70 年を記念し、4 大学合わせて 150 名近くの学生が集い、国際学生フォーラムを開催、日韓両国の過去（同徳女子大）、現在（啓明大）、そして未来（釜山外大）を語る場を持つことができた。

このような成果のもとで、2016 年度は対立から共生へ向けた新たな段階への過渡期として、これまで同様、同徳女子大学校との間で第 11 回セミナーを実施する一方、同年に協定を締結した釜山外国語大学校が実施する韓国語・韓国文化を学ぶプログラム（韓国語短期研修）と、日本語・日本文化を教えるプログラム（日本語教育実習）とを合体することで、新たな理念のもと、「複言語・複文化プログラム」を構築し、日韓大学生国際交流セミナーは言語・文化を越えたシティズンシップ、国家を越えたインターナショナルなアイデンティティ形成、そしてそれに基づいた東アジアの共生に向け、より高い次元に向かってさらなる一歩を踏み出した。

今回はその第 7 回目として、5 名の学生が本プログラムに参加した。8 月 7 日から 26 日までの 3 週間は韓国語研修に参加、韓国語・韓国文化を学ぶとともに、決定した指導教員とのコンタクトを開始し、後半の日本語教育実習に備えた。9 月 3 日から 15 日まではそれぞれの指導教員のもと、日本語教育実習に参加、日本語と日本文化を教える体験をした。9 月 15 日にはセミナーの集大成として、「第 4 回日韓学生フォーラム」を開催し、日韓は対立から共生へ向けての議論を行った。

なお、本プログラムは、学部生は「多文化交流実習 I・II」または「日本語教育法演習 I・II」を履修して参加した。4 月に参加者を募集し、5 月～7 月には毎週事前学習を行った。3 か月間の事前学習では、本複言語・複文化プログラムの理念である「複言語・複文化主義（*plurilingualism, pluriculturalism*）」、「インターカルチュラル・シティズンシップ教育（*intercultural citizenship education*）」としての外国語教育を学び、その上で釜山外国語大学が採用している「ヨーロッパ言語共通参照枠（*Common European Framework of Reference for*

Languages)」や「Can-do ステートメント」を紹介、それらに基づいた具体的な教案作成の方法などを学び、実際の教壇実習に臨んだ。

残念ながら東アジアにはヨーロッパのようなともに生きるための地域連合体もなく、それをめざすための教育理念も教育政策もなく、今日もなお日韓の過去は克服できずにいる。そのような中、両国学生たちは、これまでと変わらぬ友好的な姿勢で交流を行い、かつ戦後最悪とも言える日韓関係改善に向け真摯に対話や交流を行った。

釜山外国語大学の協力のもと、本学が歩み始めた本プログラムが、対立の多い日韓、そして東アジアに、和解と共生をもたらす第一歩となれば幸いである。

なお本プログラムは、釜山外国語大学校の多大なるご支援とご協力のほか、日本学生支援機構の短期派遣プログラム、およびお茶の水女子大学奨学金などの支援を受け、学生が派遣されている。この場を借りて心から感謝の意を表したい。

2. 日程表

月日（曜日）	プログラム	
4月10日（月）	説明会・参加者募集	
	事前学習（日本語教育法Ⅰ／多文化交流実習Ⅰ）開始	
6月14日（水）	参加者顔合わせ、事務連絡、実習説明会	
8月7日（月）	訪韓・入寮	
8月8日（火）	韓国語研修開講式 韓国語授業開始（～24日）	学生交流会 キャンパスツアー
8月9日（水）	韓国語授業	歓迎晩餐
8月10日（木）	韓国語授業	クルーズツアー
8月11日（金）	韓国語授業	
8月14日（月）	韓国語授業	
8月15日（火）	韓国語授業	学生交流会
8月16日（水）	韓国語授業	
8月17日（木）	韓国語授業	ロッテワールド
8月18日（金）	韓国語授業	韓国料理体験
8月21日（月）	韓国語授業	学生交流会
8月22日（火）	韓国語授業	慶州旅行
8月23日（水）	韓国語授業	
8月24日（木）	韓国語研修終了式	送別会、カリグラフィ
8月29日（火）	自主学習・指導教員との事前ミーティング（～9月1日）	
9月2日（土）	京都外国語大学および近畿大学からの実習生到着	
9月3日（日）	日本語教育実習オリエンテーション	
9月4日（月）	授業見学開始 教壇実習開始（～15日）	
9月15日（金）	日本語教育実習修了式	日韓学生フォーラム 懇親会
9月16日（土）	帰国の途へ	
9月20日（水）	参加者報告書提出	

3. 参加者

参加者	所属・学年	韓国語 クラス	日本語 クラス	実習指導 担当教員
A	言語文化学科（グロ文）3年	第15組	B1-1	三國喜保子
B	言語文化学科（日文）3年	第1組	B2-1	松浦恵子
C	言語文化学科（グロ文）2年	第10組	A2	柴田文武
D	言語文化学科（グロ文）2年	第2組	B1-1	澤井亮介
E	人文科学科（グロ文）2年	第4組	B1-1	二色博樹

注) 韓国語研修クラスは全16組。初級から上級に分かれている。

4. 日本語教壇実習日程

氏名	9月11日 (月)	9月12日 (火)	9月13日 (水)	9月14日 (木)	9月15日 (金)
A	15:00-16:50			16:00-17:50	
B			14:00-15:50	15:00-16:50	
C	10:00-11:50			12:00-13:50	
D		15:00-16:50		15:00-16:50	
E		14:00-15:50		13:00-14:50	

注) 担当以外の授業見学、及び指導教員との事前・事後打ち合わせや模擬授業を除く

5. スタッフ

大学	名前	所属	役職
釜山外国語大学校	諏訪昭宏	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	松浦恵子	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	三國喜保子	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	二色博樹	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	澤井亮佑	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	柴田文武	日本語創意融合学部	教員
お茶の水女子大学	森山 新	グローバル文化学環／日本語教育コース	教員
お茶の水女子大学	清水郷美	大学院人間文化創成科学研究科	院生(TA)